

一般社団法人日本解剖学会 2025(令和7)年度第3回理事会 議事録

日 時：2025(令和7)年3月16日(日) 17:00～19:00

場 所：幕張メッセ国際会議場 中会議室103

出席者：寺田 純雄(理事長)、大和田 祐二、尾崎 紀之、仲嶋 一範、福田 孝一、(以上、常務理事)、大内 淑代、岡部 繁男、海藤 俊行、阪上 洋行、佐藤 真、千田 隆夫、島田 昌一、徳田 信子、菱川 善隆、藤山 文乃、宮田 卓樹、吉田 成孝、和中 明生 (以上、理事)、八木沼 洋行、渡辺 雅彦(以上、監事)、市村 浩一郎、大野 伸彦、竹林 浩秀(以上、常任幹事)、伊藤 杏佳、中村 聰(以上、口腔保健協会) (下線はWeb参加)

I. 理事長および第130回総会・全国学術集会会頭 挨拶

寺田純雄理事長および渡辺雅彦第130回総会・全国学術集会会頭から挨拶があった。

II. 議事録署名人の確認

定款第39条の規定に従い、八木沼監事と渡辺監事を議事録署名人として選出した。

III. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

2025(令和7)年度第1回理事会 (2025(令和7)年1月26日開催) 議事録 (案)

IV. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 年会費納入状況について (長期未納者の除名について)

資料に基づき、3年間未納者（42名）について報告された。学会会期内の払い込みがない場合は退会になるので、できるだけ会費納入の声かけを行うこととなった。

(2) 2025(令和7)年度第130回総会・全国学術集会内スケジュールの確認

資料に基づき、3月17日から開催される学術集会日程が確認された。

(3) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) その他

解剖学雑誌100巻1号が、100巻記念号として発行されることが報告された。

3. 企画・渉外報告

(1) 2026(令和8)年度第131回総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、第131回総会・全国学術集会の完成したポスターが報告された。

(2) 日本医学会・日本医学会連合報告

資料に基づき、日本医学会連合臨時総会(2025年2月21日開催、大和田常務理事出席)における日本医学会COI管理ガイドライン（一部改正案）、そして、日本医学会連合シンポジウム「研究力強化と医師偏在の是正に向けたこれまでの取り組みと今後について」(4月30日開催、大野伸彦常任幹事出席予定)について報告された。

(3) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、生物科学学会連合第31回定例会議が2025年4月30日に開催予定であることが報告された。また、「次期動物愛護管理法改正に関わる要望書」について生科連として賛同すること、および「科研費増額要望書」の文科大臣への提出後の動向について報告された。

(4) 日本脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、第32回評議員会（2025年3月30日開催予定、仲嶋常務理事、大和田常務理事、堀次期常務理事出席予定）の議事が報告された。

(5) 国際涉外関係について（KAA、APICA、IFAA等）

資料に基づき、以下の報告があった。

- ・ KAA（韓国解剖学会）：

次回の相互交流はJAA-KAA国際交流協定に基づき、本年はJAAからKAAへの派遣年となる。

- ・ APICA（アジアパシフィック国際解剖学会議）：

APICA2025会頭から、Advisory Boardへの就任に関する打診があり、JAAから寺田理事長、大和田常務理事、竹林常任幹事の3名で対応することになった。また、APICA2027の日本での開催の可否について検討されていることも報告された。

- ・ IFAA（国際解剖学会議）：

第21回IFAA（2024年9月5日～8日開催、韓国）へJAAからシンポジストとして下記の2名を派遣し、交通費・宿泊費を全額補助したことが報告された。現在、JAAはIFAAに加盟していない。昨年、IFAA理事長からJAAの復帰について打診があったが、復帰は保留となっている。

- ・ 芝田 晋介 氏（新潟大学大学院医歯学総合研究科 組織学分野）

- ・ 横田 瞳美 氏（順天堂大学 医学部 神経生物学・形態学講座）

(6) その他

特になし。

4. 会計報告

(1) 2025(令和7)年度中間決算書について

資料に基づき、2025（令和7）年度中間決算書（1月1日～1月31日）について報告された。

(2) 賞・研究費候補者選考委員会報告、次期賞・研究費候補者選考委員会の構成と奨励賞募集概要について

資料に基づき、2025（令和7）年度日本解剖学会奨励賞応募要項の内容が報告された。昨年度より、本応募要項の解剖学雑誌での掲載を取りやめており、学会ホームページでの掲載とOHASYSでの配信のみとしていることが確認された。

(3) その他

特になし。

5. 理事長報告

(1) CST事業の法人設立準備委員会報告

資料に基づき、令和6年度第3回CST推進委員会／第3回CST事業の法人設立準備委員会合同委員会（2025年1月14日Zoom開催、寺田理事長、大和田常務理事、尾崎常務理事、徳田理事、八木沼監事出席）の議事が報告された。

(2) その他
特になし。

V. 審議事項

1. 2024(令和6)年度決算および業務監査報告の件

資料に基づいて説明があり、承認された。また、監査報告とともに、物価上昇に注意しつつ、正味財産を会員に還元する方策について検討すること、インボイス制度への対応の方針、日本解剖学会理事会と篤志解剖全国連合会との連携に関する提言があつたことが報告された。

2. 2025(令和7)年度予算および事業計画の件

資料に基づいて説明があり、承認された。事業計画案では、若手研究者の育成・研究奨励とCST事業の一般社団法人化対応が新たに加わったことが確認された。

3. 2025(令和7)年度定時社員総会資料と議長の確認

資料に基づき、総会の議題、総会資料内容、および進行の概要についての説明があり、承認された。

4. 2025年度解剖学雑誌・ASI発送方法について

資料に基づき、ASI単独発送時の発送業者をDMソリューション社に変更すること、海外発送分は事務局から発送すること、一般会員・名誉会員については発送を継続するが、その他の発送先については継続について確認すること、などの説明があり、承認された。

5. 日本産科婦人科学会から要望について

資料に基づき、着床前遺伝学的検査（PGT-M）についての日本産科婦人科学会からの要望に対する日本医学会の対応方法を認める方針についての説明があり、承認された。

6. その他

特になし。